

水稻の調査時期別作況指数〔昭和53～平成19年産（全国）〕

年次	10a 当たり 収 量 (収 穫 期)	作 況 指 数				作 柄 概 況
		8/15	9/15	10/15	収穫期	
	kg					
昭. 53	499	106	107	108	108	7月以降全国的に高温・多照に経過し、生育、登熟共に良好。
54	482	102	103	103	103	全般的に好天で生育は順調に経過。関東以西で長雨と台風により一部地域で登熟不良。
55	412	99	91	88	87	7月以降全国的に低温・寡照の異常気象により冷害。さらに西日本では台風の被害発生。
56	453	100	98	96	96	8月の豪雨、台風第15号とその後の低温等で登熟不良、北海道・東北で冷害。東海以西では生育・登熟良。
57	458	100	99	97	96	7月は東北、9月以降は関東を中心とした低温・寡照また、全国的に8月下旬から9月下旬の台風の被害等で登熟不良。
58	459	100	99	97	96	北海道、東北及び関東の一部で冷害等。その他の地域では登熟期間の異常高温(北陸)、高夜温・寡照、病虫害(西日本)。
59	517	103	105	108	108	梅雨明け以降全国的に高温・多照に経過、被害の発生も極少で、生育、登熟共に良好。35都道府県で史上最高の単収。
60	501	103	105	105	104	梅雨明け以降高温・多照の天候に恵まれ、また、九州等一部の県を除いて被害の発生も少なく、生育及び登熟共に良好。
61	508	99	102	105	105	7月下旬後半以降好天候に恵まれ、また、台風の上陸もなく、病虫害も少なく、生育登熟共に良好。
62	498	103	103	102	102	北海道、中国及び九州では風水害、日照不足等で登熟が阻害されたが、その他の地域では天候に恵まれ生育登熟共に良好。
63	474	99	98	97	97	東北、関東・東山等で冷害、いもち病等が発生し登熟不良。北海道(道央)及び近畿以西では生育・登熟共に良好。
平. 元	496	101	101	101	101	東北・北陸は、登熟期の曇雨天等で登熟が阻害されたが、その他の地域では一部を除いて、生育及び登熟共に良好。
2	509	103	103	104	103	近畿以西の一部では、9月中旬～10月中旬の秋雨前線及び台風により登熟が阻害されたが、その他の地域は生育・登熟共に良好。
3	470	99	98	95	95	道東・道南及び東北は低温と秋雨で登熟不良、北陸は日照不足で生育不良、中四国及び九州は台風により登熟不良。
4	504	101	101	101	101	北海道は冷害、都府県は一部に台風の影響があるが全般的に被害の発生が少なく生育、登熟共に順調。
5	367	95	80	75	74	7月以降の異常低温により北日本を中心として大冷害。西日本では台風、長雨による被害。更に全国的にいもち病多発。
6	544	105	107	109	109	田植期以降全国的に高温・多照の天候に恵まれ、被害も少なく、生育、登熟共に良好。39都府県で史上最高の単収。
7	509	100	102	102	102	初期生育は、低温・日照不足で抑制されたものの、梅雨明け以降東北・北陸を除き高温・多照の天候に恵まれ登熟順調。
8	525	101	102	104	105	田植期以降低温・日照不足により北日本で初期生育が抑制されたものの、出穂期以降天候に恵まれ全国的に登熟は良好。
9	515	102	102	102	102	出穂期以降概ね好天で登熟は良好。一部の地域で9月中旬以降の低温・日照不足や台風の影響。
10	499	99	98	98	98	7月中旬以降の低温・寡照。8月に東北、関東及び北陸の一部の地域で集中豪雨。9月の台風と長雨で穂発芽被害。
11	515	103	102	101	101	近畿以北では概ね好天で登熟が順調。中国四国、九州では台風第18号による被害。全国で高温による乳白、カメムシの被害発生。
12	537	103	103	104	104	北海道、東北及び北陸でもみ数やや少ない。北関東の一部で9月上旬の高温及びその後の秋雨前線の影響により登熟抑制。全国的には7月以降概ね天候に恵まれ順調。
13	532	—	103	103	103	北海道、東北太平洋側8月上旬以降低温・日照不足により登熟が緩慢も、その他の地域では7月以降概ね好天。
14	527	—	101	101	101	北海道で7～8月の低温・日照不足によりもみ数やや少なく、登熟もやや不良。青森、秋田で日照不足によりもみ数少ない。関東以西は、概ね天候に恵まれ作柄「平年並み」以上。
15	469	—	92	90	90	北海道、東北で7月中・下旬の低温による不稔もみ多発、9月中旬以降の低温やいもち病の多発による登熟不良等、その他の地域では日照不足・いもち病の多発。
16	514	—	101	98	98	北海道から近畿の太平洋側は登熟良好。8月中旬以降相次ぐ台風、長雨等により北海道、東北及び北陸の日本海側、中国四国、九州で被害。
17	532	—	102	101	101	台風第14号や登熟期間の高温、ウンカ等病虫害の影響により、九州を中心に被害が発生したものの、それ以外の地域では登熟がおおむね順調。
18	507	—	97	96	96	日照不足等により北海道を除く地域で全もみ数が平年を下回った。九州を中心に台風第13号による潮風害等の被害が発生した。
19	522	—	99	99	99	7月は低温・寡照で経過し、南九州の早期米では台風第4号の影響による乳白米等が例年になく多発。登熟期間は高温・少雨傾向で経過し、関東以西で登熟がやや抑制。

注：平成12年産8月15日の作況指数は9月1日の値、平成16年産9月15日の作況指数は9月10日の値である。